再処理施設被ばく線量評価コードの改良

目　次

1 はじめに 1-1
1.1 目的 1-1
1.2 実施内容 1-1

2 外部被ばく線量係数等の整備 2-1
2.1 外部被ばく線量係数のデータベース化 2-1
2.1.1 平成 17 年度整備データの確認 2-1
2.1.2 データベース化 2-1

3 再処理施設被ばく線量評価コードシステムの整備 3-1
3.1 DOSEBASE の見直しと整備 3-1
3.1.1 ACCESS のバージョンアップ 3-1
3.1.2 外部被ばく線量係数比較表示の整備 3-2
3.1.3 放射性壊変データの整備 3-2
3.2 データベースの組み込み 3-3
3.2.1 外部被ばく線量係数の組み込み 3-3
3.2.2 線量計算用の放射性壊変データの組み込み 3-4
3.3 GUI システムに替るインターフェースシステムの整備、解析 3-6
3.3.1 システムの整備 3-6
3.3.2 システムによる解析 3-8
3.4 マニュアルの整備 3-19
3.5 GUI システムの課題と将来設計 3-19
3.5.1 はじめに 3-19
3.5.2 現在の構成 3-20
3.5.3 現在の構成における課題 3-25
3.5.4 課題を考慮した設計検討 3-27

4 ボクセルファントム等による外部被ばく線量換算係数の調査 4-1
4.1 文献調査 4-1
4.2 整備方法の検討 4-2
4.3 環境被ばく等価線源の整備 4-6
4.3.1 計算条件 4-6
4.3.2 計算結果 4-7

5 おわりに.....5-1
5.1 成果のまとめ.....5-1
5.1.1 外部被ばく線量係数等の整備.....5-1
5.1.2 再処理施設被ばく線量評価コードシステムの整備.....5-1
5.1.3 GUI システムの課題と将来設計.....5-1
5.2 今後の課題.....5-1
5.2.1 外部被ばく線量係数等の整備.....5-1
5.2.2 再処理施設被ばく線量評価コードシステムの整備.....5-2
5.2.3 GUI システムの課題と将来設計.....5-2

参考文献.....参-1

付録 COQDOQ2006 取扱説明書.....付-1